

令和4年度
全国学力・学習状況調査
分析結果

泉佐野市

泉佐野市教育委員会
令和4年10月

はじめに

平成19年度より文部科学省が実施してきました「全国学力・学習状況調査」は、平成26年度に実施要領が変更され、教育委員会における市町村・学校の結果公表の取扱いについて、「調査結果の公表に関しては、（中略）調査により測定できるのは学力の特定の一部であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。」としています。このことを踏まえ、泉佐野市教育委員会におきましては、実施要領に定める配慮事項に十分留意した上で、個々の学校名を明らかにした調査結果の公表を平成26年度より行っています。

令和4年度の調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象とし、学力に関しては、小学校で国語、算数、理科、中学校で国語、数学、理科の調査が行われ、併せて児童生徒の学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査も行われました。

本市においては、抽出調査となった平成22年度以降も、全国や大阪府の学力・学習状況調査に全小中学校が参加し、その調査結果の分析を行い、具体的な施策や取組みに生かしています。また、平成26年度からは、市全体の分析と併せて、各学校の平均正答率及び分析結果を公表しています。なお、本調査結果は、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと、また、各学校では、様々な取組みを進めていることを十分ご理解いただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、本市の教育行政ならびに学校の教育活動に、引き続きご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年10月

泉佐野市教育委員会
教育長 奥 真弥

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和4年4月19日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年, 全児童	実施児童数 (737人)
中学校第3学年, 全生徒	実施生徒数 (711人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語、算数・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

ウ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

小 学 校

(令和4年4月19日実施 737名参加)

国語に関する分析
算数に関する分析
理科に関する分析
児童質問紙の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ②自分の考えを人に伝えるときは、理由もあわせて伝えましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に興味を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥ゲームや動画の視聴をするときは時間を決めましょう。(1日1時間以内を目安に)

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層が少なく、中位層及び下位層に偏りが見られる。

平均正答率（泉佐野市 62/ 大阪府 64/ 全国 65.6）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることは概ねできている。 1三【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する (83.4/84.7)</p> <p>○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題がある。 1四「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、<input type="checkbox"/>でどのように話すかを書く (41.9/47.7)</p> <p>【書くこと】 ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることに課題がある。 3一【文章2】の<input type="checkbox"/>の部分を、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する (53.3/59.2)</p> <p>○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることに課題がある。 3二【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く (32.0/37.7)</p>	<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○話し言葉と書き言葉との違いを理解することは概ねできている。 1一【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する (82.2/85.5)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うことに課題がある。 3三（ア）【文章2】の中の___部アを、漢字を使って書き直す（<u>ろくが</u>） (60.1/65.2)</p> <p>3三（ウ）【文章2】の中の___部ウを、漢字を使って書き直す（<u>したしむ</u>） (57.5/67.1)</p> <p>【我が国の言語文化に関する事項】 ○漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことに課題がある。 3四（一）から（二）に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する (71.4/77.9)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	51.2	59.2 (57.8)	◇	8.0
国語の勉強は大切だと思いますか	93.0	93.3 (92.2)		0.3
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.2	84.0 (84.7)		0.2
国語の学習で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4	91.8 (90.1)		1.4
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	79.0	78.0 (75.3)		1.0

○「国語の勉強は好きだ」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて少し増加したことは評価できるが、全国との差が大きいことは課題である。(R3 48.7)

○「国語の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。(R3 84.1)

○「国語の学習で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合が、昨年度と比べて少し減少しているが、高い割合であることは評価できる。(R3 92.7)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)						
			知識及び技能					知識・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	(2) 情報の扱い方に 関する事項	(3) 我が国の言語文化に 関する事項												
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する	5・6 イ			○	○		82.2	84.0	85.5	1.4	0.9	0.9			
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	5・6 ア			○	○		68.4	68.4	68.8	1.4	1.0	1.0			
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉える			3・4 エ	○	○		83.4	84.3	84.7	1.4	1.0	1.0			
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="checkbox"/> でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる			5・6 オ	○	○	○	41.9	44.4	47.7	1.9	3.6	3.0			
2一(1)	「ぼく」の気持ちの説明として適切なものを選択する	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える			3・4 イ	○	○		66.4	67.2	68.4	1.2	0.9	1.0			
2一(2)	「老人」が未来の「ぼく」だと考えられるところとして適切なものを選択する	登場人物の相互関係について、描写を基に捉える			5・6 イ	○	○		69.7	70.2	70.6	2.4	1.6	1.6			
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の <input type="checkbox"/> Aに入る内容を書く	人物像や物語の全体像を具体的に想像する			5・6 エ	○	○	○	65.3	68.0	68.3	13.4	12.5	12.2			
2三	【山村さんの文章】の <input type="checkbox"/> Bに入る内容として適切なものを選択する	表現の効果を考える			5・6 エ	○	○		55.1	58.1	59.2	4.9	3.1	3.2			
3一	【文章2】の <input type="checkbox"/> の部分、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する	文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整える			5・6 オ	○	○		53.3	56.3	59.2	5.4	2.7	2.5			
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける			5・6 カ	○	○		32.0	35.8	37.7	16.0	15.3	14.5			
3三ア	【文章2】の中の――部アを、漢字を使って書き直す(ふくが)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6 エ			○	○		60.1	63.5	65.2	13.0	8.4	8.1			
3三イ	【文章2】の中の――部イを、漢字を使って書き直す(ほんせい)		5・6 エ			○	○		54.3	56.2	58.7	15.2	10.3	10.2			
3三ウ	【文章2】の中の――部ウを、漢字を使って書き直す(したしむ)		5・6 エ			○	○		57.5	65.4	67.1	19.1	14.7	14.7			
3四	(一)から(二)に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する	漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く			3・4 エ(イ)	○	○		71.4	74.2	77.9	10.9	6.2	5.9			

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

- ・ 平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べて上位層及び中上位層が少なく、中下位層が多く分布している。

平均正答率（泉佐野市 61 / 大阪府 63 / 全国 63.2）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

算数	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○被除数に空位のある整数の情報の計算をすることは概ねできている。</p> <p>1（1）1050×4を計算する (92.1/92.4)</p> <p>○示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することに課題がある。</p> <p>1（3）カップケーキ7個分の値段を、 $1470 \div 3$で求めることができるわけを書く (70.7/76.0)</p> <p>○示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察することに課題がある。</p> <p>1（4）85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ (33.9/34.8)</p>	<p>【図形】</p> <p>○正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述することに課題がある。</p> <p>4（1）示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す (43.3/48.8)</p> <p>○図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解することに課題がある。</p> <p>4（3）辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ (60.7/66.5)</p> <p>【変化と関係】</p> <p>○示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題がある。</p> <p>2（3）果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ (20.1/21.4)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	61.6	62.5 (62.1)		0.9
算数の勉強は大切だと思いますか	93.4	94.2 (93.2)		0.8
算数の授業の内容はよく分かりますか	84.3	81.2 (82.6)		3.1
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.7	93.3 (92.3)		1.6
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	66.7	69.3 (65.7)		2.6
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	80.6	80.4 (78.4)		0.2
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	76.1	76.8 (76.2)		0.7
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	83.7	85.7 (84.6)		2.0
今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらについてどのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	80.9	82.8 (80.7)		1.9

○「算数の勉強は大切だ」と感じている児童の割合が、全国をやや下回っているものの、昨年度に引き続き非常に高い割合であることは評価できる。

(R3 94.4)

○「算数の授業の内容はよく分かる」と回答している児童の割合が、全国と比べて高い割合であることは評価できる。

(R3 85.8)

○「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が、昨年度と比べて低下していることは課題である。

(R3 72.1)

○「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童の割合が、高い割合であり一定の評価はできるものの、昨年度と比べて低下していることは課題である。

(R3 88.7)

問題別集計結果			学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	A	B	C	C	D	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
			数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用												
1(1)	1050×4を計算する	被乗数に空白のある整数の乗法の計算をすることができる	3(1) 7(2) 3(3) 7(4) 4(7) 7(7)					○				○		92.1	92.3	92.4	0.1	0.4	0.3
1(2)	14と21の最小公倍数を求める	二つの数の最小公倍数を求めることができる	5(1) 7(4)					○				○		70.1	71.1	72.2	2.7	3.0	3.0
1(3)	カップケーキ7個分の値段を、1470÷3で求めることができるわけを書く	示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる	3(4) 7(7) 4(3) 7(4)					○				○		70.7	73.8	76.0	6.5	5.6	5.2
1(4)	85×21の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ	示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる	4(2) 7(7)					○		○				33.9	34.8	34.8	0.5	0.9	0.9
2(1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる				5(3) 7(4)		○				○		72.3	69.3	71.1	3.5	4.2	3.9
2(2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる				5(3) 7(4)		○				○		63.4	66.4	64.6	3.3	3.3	3.3
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している				5(3) 7(7)		○		○				20.1	21.3	21.4	0.9	1.1	1.1
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる				5(1) 7(7)		○				○		48.2	47.7	48.0	6.6	5.4	5.5
3(1)	表のしりとり欄に入る数を求める式と答えを書く	表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる	4(6) 7(7)				3(1) 7(7)	○				○		74.9	76.0	75.3	2.2	2.2	2.1
3(2)	分類整理されたデータから、全員の希望が一つは通るように、遊びを選ぶ	分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる					3(1) 7(7)	○			○			62.3	63.2	63.9	1.4	1.6	1.6
3(3)	1年生と6年生が希望する遊びの割合を調べるためのグラフを選び、そのグラフから割合が一番大きい遊びを選ぶ	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる					5(1) 7(7)	○			○			63.1	66.8	66.8	3.3	2.4	2.2
3(4)	1年生の希望をよりかなえるためのポイント数の求め方と答えを書く	加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる	4(6) 7(7) 7(7)					○				○		65.0	66.7	67.7	9.5	8.7	8.6
4(1)	示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる	3(1) 7(7) 4(3) 7(7) 7(7)					○				○		43.3	47.9	48.8	5.4	4.1	3.8
4(2)	長方形のプログラムについて、向かい合う辺の長さを書く	図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している	2(1) 7(4)					○				○		79.9	81.7	83.2	6.5	5.1	4.7
4(3)	辺の長さや角の大きさに着目し、ひし形をかくことができるプログラムを選ぶ	図形を構成する要素に着目して、ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している	4(1) 7(4)					○			○			60.7	65.8	66.5	7.7	4.8	4.6
4(4)	示されたプログラムでかくことができる図形を選ぶ	示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できる	4(1) 7(4) 7(7)					○			○			55.4	56.1	57.6	7.5	5.2	5.1

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校理科

1. 全体の傾向

- ・ 平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べると上位層が少なく、中下位層にやや多く分布している。

平均正答率（泉佐野市 58／大阪府 60／全国 63.3）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【「粒子」を柱とする領域】</p> <p>○自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことに課題がある。</p> <p>2（3）水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ (54.1/62.8)</p> <p>○自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。</p> <p>2（4）凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く (32.2/39.3)</p>	<p>【「エネルギー」を柱とする領域】</p> <p>○問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録することに課題がある。</p> <p>3（2）実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ (67.0/74.4)</p> <p>【「粒子」を柱とする領域・「地球」を柱とする領域】</p> <p>○水は水蒸気になって空気中に含まれていることへの理解に課題がある。</p> <p>4（4）鉄棒に付着していた水滴と氷の粒は、何が変化したものかを書く (48.4/62.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	75.0	79.7 (75.4)		4.7
理科の勉強は大切だと思いますか	82.5	86.5 (83.7)		4.0
理科の授業の内容はよく分かりますか	88.2	88.5 (86.6)		0.3
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	66.3	67.9 (64.2)		1.6
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.4	77.2 (73.8)		3.8
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	26.7	26.6 (25.8)		0.1
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	75.4	78.0 (75.1)		2.6
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	79.6	84.9 (82.2)	◇	5.3
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	69.1	72.2 (68.3)		3.1
今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	78.4	80.6 (76.7)		2.2

- 「理科の勉強は大切だと思う」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。
(H30 76.4)
- 「理科の授業の内容はよく分かる」と感じている児童の割合が、高い割合であることは評価できる。
(H30 85.4)
- 「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えている」児童の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。
(H30 75.3)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の区分・領域		評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)			
			A区分	B区分			貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域 「生命」を柱とする領域 「地球」を柱とする領域									
1(1)	見いだされた問題を基に、観察の記録が誰のものであるかを選ぶ	問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる		2B (11)P (7) (4)R	○	○	89.1	91.1	92.9	0.4	0.2	0.2	
1(2)	自分の観察の記録と新たに追加された他者の観察の記録を基に、問題に対するまともを見直し、内容を改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	自分で行った観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまともを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3B (11)P (7) (4)R	○	○	61.7	64.1	67.5	6.0	6.1	5.0	
1(3)	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を考える	昆虫の体のつくりを理解している		3B (11)P (7) (4)R	○	○	70.8	71.4	73.1	0.4	0.3	0.3	
1(4)	資料を基に、カブトムシは育ち方と主な食べ物の特徴から二次元の表のどこに当てはまるかを選ぶ	提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (11)P (7) (4)R	○	○	71.8	73.4	76.1	0.9	0.7	0.7	
1(5)	育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる		3B (11)P (7) (4)R	○	○	62.8	61.6	65.5	1.9	1.7	1.4	
2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している		4A (2)P (0)	○	○	62.4	64.1	67.8	10.9	10.8	9.8	
2(2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている		4A (2)P (0)	○	○	67.3	69.6	70.0	0.5	0.7	0.6	
2(3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまともを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまともを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる		4A (2)P (0) 3A (11)P (7) (4)R	○	○	54.1	60.0	62.8	1.5	1.1	1.0	
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		4A (2)P (0) 3A (11)P (7) (4)R	○	○	32.2	36.3	39.3	8.7	10.2	8.7	
3(1)	光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ	日光は直進することを理解している		3A (13)P (7) (4)R	○	○	22.0	26.1	27.8	0.4	0.6	0.6	
3(2)	実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ	問題に対するまともを導きだすことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録している		3A (13)P (7) (4)R	○	○	67.0	71.5	74.4	0.9	1.5	1.3	
3(3)	鏡ではね返した日光の位置が変化していることを基に、継続して同じ条件で実験を行うために、実験の方法を見直し、新たに追加した手順を書く	自分で発想した実験の方法と、追加された情報を基に、実験の方法を検討して、改善し、自分の考えをもつことができる		3A (13)P (7) (4)R	○	○	63.0	65.9	68.9	6.6	6.1	5.1	
3(4)	問題に対するまともめから、その根拠を実験の結果を基にして書く	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる		3A (13)P (7) (4)R	○	○	29.7	32.6	35.1	12.8	12.9	11.2	
4(1)	冬の天気と気温の変化を基に、問題に対するまともを選ぶ	観察で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる			4B (4)P (7)R	○	○	77.3	80.2	82.3	1.5	1.2	1.0
4(2)	夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ	予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる			4B (4)P (7)R	○	○	58.9	62.0	64.5	1.8	1.4	1.3
4(3)	結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ	観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる			4B (4)P (7)R	○	○	42.7	43.0	45.5	8.7	7.8	6.5
4(4)	鉄棒に付着していた水滴と水の粒は、何が変化したものかを書く	水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している		4A (2)P (0)	○	○	48.4	54.1	62.0	8.3	7.3	6.2	

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校児童質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（32問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（16問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率>（大阪府回答率）
【自分自身について】	○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある割合は、全国を下回っている。	○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか <u><45.0/51.3></u> （47.2）
【家庭生活の様子】	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている割合は、全国を下回っている。 ○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている割合は、全国を下回っている。 ○地域の行事に参加している割合は、全国を下回っている。 ○1日当り全く読書をしなない割合は、全国を上回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <u><74.9/81.5></u> （80.3） ○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか <u><66.5/71.5></u> （71.1） ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <u><42.6/52.7></u> （43.4） ○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 全くしない <u><37.7/26.3></u> （31.9）
【家庭学習の様子】	○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は、全国を下回っている。 ○学校の授業時間以外に、1日当たり全く勉強しない割合は、全国を上回っている。	○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） <u><65.9/71.1></u> （62.6） ○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 全くしない <u><9.9/4.2></u> （9.6）

	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり全く勉強しない割合は、全国を上回っている。</p>	<p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 全くしない<25.9/12.3> (22.0)</p>
【学校での学習の様子】	<p>○総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○授業でICTを使用している頻度は、全国を下回っている。</p> <p>○授業中に自分で調べる場面で、ICTを使う頻度は、全国を下回っている。</p>	<p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。 <61.1/72.7> (64.1)</p> <p>○5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 毎日<14.2/26.7> (24.5)</p> <p>○学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など） 毎日<7.7/14.3> (13.1)</p>

中 学 校

(令和4年4月19日実施 711名参加)

国語に関する分析
数学に関する分析
理科に関する分析
生徒質問紙の分析

いっしょに取り組みましょう！

- ①課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましょう。
- ②自分の考えを人に伝えるときは、理由もあわせて伝えましょう。
- ③地域や社会で起こっている問題や出来事に興味を持ちましょう。
- ④本を読む習慣をつけましょう。(1日30分～1時間を目安に)
- ⑤宿題を含め、計画的に家庭学習をする習慣をつけましょう。
- ⑥ゲームや動画の視聴をするときは時間を決めましょう。(1日1時間以内を目安に)

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べると上位層がやや少なく、中下位層にやや多く分布している。

平均正答率（泉佐野市 63／大阪府 67／ 全国 69.0）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】 ○聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することに課題がある。 1 一スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す (67.9/74.7) ○論理の展開などに注意して聞くことに課題がある。 1 二話の進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する (54.0/65.1) ○自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことに課題がある。 1 三スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く (35.9/51.8)</p> <p>【書くこと】 ○自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。 2 三農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える (38.7/46.5)</p> <p>【読むこと】 ○場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することに課題がある。 3 四「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く(61.2/73.8)</p>	<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】 ○助動詞の働きについて理解し、目的に応じて使うことに課題がある。 2 一意見文の下書きの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する (74.8/82.3) ○文脈に即して漢字を正しく書くことは概ねできている。 2 二①漢字を書く（のぞく） (81.9/82.1) ○表現の技法について理解することは概ねできている。 3 一「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する (57.9/52.5) ○事象や行為、心情を表す語句について理解することに課題がある。 3 二「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する (77.9/84.0)</p> <p>【我が国の言語文化に関する事項】 ○行書の特徴を理解することに課題がある。 4 一行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する (38.3/39.4) ○漢字の行書の読みやすい書き方について理解することは概ねできている。 4 二最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する (87.5/90.1) ○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解することに課題がある。 4 三書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する (73.0/81.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	51.5	61.9 (60.7)	○	10.4
国語の勉強は大切だと思いますか	89.5	93.2 (91.9)		3.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.0	81.2 (81.5)		3.2
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.0	89.7 (87.5)	◇	5.7
今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	63.2	77.3 (73.7)	○	14.1

○「国語の勉強は好きだ」と感じている生徒の割合が、昨年度と比べて減少したことは課題である。
(R3 61.1)

○「国語の授業の内容はよく分かる」と感じている生徒の割合が、昨年度と比べて少し減少したことは課題である。
(R3 80.7)

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている生徒の割合が、昨年度と比べて少し減少しているが、高い割合であることは評価できる。
(R3 86.5)

○「今回の国語の問題について、書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合が、昨年度と比べて少し減少し、全国との差が大きいことは課題である。
(R3 62.2)

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国と比べ上位層がやや少なく、中位層及び下位層に少し偏りが見られる。
平均正答率（泉佐野市 45／大阪府 51／全国 51.4）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○自然数を素数の積で表すことが概ねできている。 1 42を素因数分解する (58.7/52.2)</p> <p>○簡単な連立二元一次方程式を解くことに課題がある。 2 連立二次元一次方程式を解く (66.2/74.5)</p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題がある。 6(1) 同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、nが9のときどのような計算を表しているかを書く (67.8/73.8)</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。 6(2) 差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する (38.4/48.7)</p> <p>○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することに課題がある。 6(3) ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する (27.7/37.6)</p> <p>【図形】</p> <p>○反例の意味を理解しているに課題がある。 3 ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ (38.7/44.9)</p> <p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することに課題がある。 9(1) 証明で用いられている三角形の合同条件を書く (66.5/73.2)</p>	<p>○筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。 9(2) $\angle ABE$と$\angle CBF$の和が30°になる理由を示し、$\angle EBF$の大きさがいつでも60°になることの説明を完成する (10.6/12.5)</p> <p>【関数】</p> <p>○一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題がある。 4 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ (30.5/37.9)</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。 8(1) 与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く (48.6/54.6)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。 8(2) 目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する (30.1/38.4)</p> <p>【データの活用】</p> <p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解することに課題がある。 5 容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ (74.5/83.3)</p> <p>○データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。 7(1) コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する (35.7/44.0)</p> <p>○箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることに課題がある。 7(2) 箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ (35.0/44.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	59.6	58.1 (58.9)		1.5
数学の勉強は大切だと思いますか	82.2	86.6 (84.9)		4.4
数学の授業の内容はよく分かりますか	78.8	76.2 (78.0)		2.6
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	73.0	76.5 (74.5)		3.5
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	42.3	47.3 (45.8)	◇	5.0
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	73.7	75.2 (73.9)		1.5
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	68.0	70.2 (69.9)		2.2
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	77.8	79.6 (78.9)		1.8
今回の数学の問題では、言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	40.3	53.4 (50.9)	○	13.1

- 「数学の勉強が好きだ」と感じている生徒の割合が、全国よりも上回っており、評価できる。
(R3 53.1)
- 「数学の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合が、昨年と比べて大きく増加しているが、全国との差が大きいことは課題である。
(R3 77.8)
- 「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えている」生徒の割合が、全国との差が大きいことは課題である。
(R3 47.1)
- 「今回の数学の問題において、言葉や数、式を使って、説明する問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合が、昨年度と比べて大きく減少し、全国との差が広がったことは課題である。
(R3 49.5)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)			無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り込む態度	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)
1	42を素因数分解する	自然数を素数の積で表すことができる	1(1) ア(4)				○			○		58.7	52.9	52.2	13.2	11.6	11.5	
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x + y = 1 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2) ア(9)				○			○		66.2	74.3	74.5	11.1	6.8	6.1	
3	ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ	反例の意味を理解している	2(2) ア(4)				○			○		38.7	43.5	44.9	1.0	0.4	0.4	
4	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	一次関数の変化の割合の意味を理解している			2(1) ア(7)		○			○		30.5	39.7	37.9	0.4	0.3	0.4	
5	容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ	多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している			1(2) ア(7)		○			○		74.5	81.5	83.3	0.7	0.3	0.3	
6(1)	同じ偶数の和である $2n + 2n = 4n$ について、 n が9のときどのような計算を表しているかを書く	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	2(1) ア(4)				○			○		67.8	73.4	73.8	10.8	7.2	6.0	
6(2)	差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1) イ(4)				○			○		38.4	47.0	48.7	34.7	23.4	20.0	
6(3)	ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(1) イ(4)				○			○		27.7	36.0	37.6	42.7	29.3	26.2	
7(1)	コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴を基に選び、選んだ理由を説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる			1(1) イ(7)		○			○		35.7	43.7	44.0	4.3	1.8	1.4	
7(2)	箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる			2(1) ア(7)		○			○		35.0	40.9	44.1	2.0	0.7	0.7	
8(1)	与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる			1(1) ア(9) イ(4)		○			○		48.6	54.8	54.6	14.1	8.4	7.2	
8(2)	目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			1(1) イ(4)		○			○		30.1	36.7	38.4	38.9	28.4	24.4	
9(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2) ア(7)				○			○		66.5	72.6	73.2	13.9	8.8	7.5	
9(2)	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する	筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(2) イ(4)				○			○		10.6	13.4	12.5	56.0	42.4	38.5	

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校理科

1. 全体の傾向

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国と比べると上位層および中位層が少なく、中下位層にやや多く分布している。

平均正答率（泉佐野市 42／大阪府 47／全国 49.3）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【「エネルギー」を柱とする領域】</p> <p>○日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用することに課題がある。</p> <p>1（1）日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する (32.4/44.2)</p> <p>○考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討することに課題がある。</p> <p>5（3）考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する (29.2/43.3)</p> <p>【「粒子」を柱とする領域】</p> <p>○実験の結果が考察の根拠として十分かどうか検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善することに課題がある。</p> <p>7（2）吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する (44.9/53.4)</p>	<p>【「生命」を柱とする領域】</p> <p>○実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことに課題がある。</p> <p>8（1）アリの視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する (39.7/55.2)</p> <p>○予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見直しをもつことに課題がある。</p> <p>8（2）予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する (39.0/55.1)</p> <p>【「地球」を柱とする領域】</p> <p>○過去の大地の変動について、垂直方向の移動だけで推論した他者の考察を、水平方向の移動も踏まえて、検討することに課題がある。</p> <p>6（2）陸上のB地点で古生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する (50.9/60.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	全国 (大阪府)	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	68.1	66.4 (62.9)		1.7
理科の勉強は大切だと思いますか	72.5	76.8 (73.9)		4.3
理科の授業の内容はよく分かりますか	77.3	75.2 (74.6)		2.1
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	47.5	52.7 (48.9)	◇	5.2
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	55.1	61.5 (57.0)	◇	6.4
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	23.5	22.1 (23.1)		1.4
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	41.4	64.5 (57.5)	○	23.1
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか	51.9	78.9 (71.3)	○	27.0
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	51.1	68.1 (61.2)	○	17.0
今回の理科の問題では、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか ※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合	58.2	74.0 (68.0)	○	15.8

○「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」生徒の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。(H30 36.2)

○「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している」生徒の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。(H30 43.5)

○「理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えている」生徒の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。(H30 39.5)

○「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」生徒の割合が、全国と比べて低い割合であることは課題である。(H30 56.2)

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域			評価の観点	問題形式	正答率(%)			無解答率(%)		
			「エネルギー」を柱とする領域	「粒子」を柱とする領域	「生命」を柱とする領域			「地球」を柱とする領域	貴教育委員会	大阪府(公立)	全国(公立)	貴教育委員会	大阪府(公立)
1(1)	日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する	日常生活や社会の中で物体が静電気を帯びる現象を問うことで、静電気に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(3) (7)			○	○	32.4	41.2	44.2	0.1	0.1	0.1
1(2)	タッチパネルの反応に水が関係しているかを調べるために、変える条件と変えない条件を適切に設定した実験操作の組合せを選択する	モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみる	(3) (7)			○	○	74.5	75.5	78.5	0.4	0.2	0.1
2(1)	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を空気の柱の長さで説明する際、適切な長さの変化を選択する	観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる		(4) (7)		○	○	52.7	52.4	54.2	0.4	0.2	0.2
2(2)	気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する	継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみる		(4) (4)		○	○	37.3	41.0	40.8	0.7	0.3	0.3
2(3)	上空の気象現象を地上の観測データを用いて推論した考察の妥当性について判断する	飛行機雲の残りを科学的に探究する学習場面において、地上の観測データを用いて考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるかどうかをみる		(4) (4)		○	○	24.2	27.2	28.5	0.8	0.4	0.3
3(1)	分子のモデルで表した図を基に、水素の燃焼を化学反応式で表す	化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができるかどうかをみる		(4) (4)		○	○	75.0	77.7	80.1	0.4	0.2	0.1
3(2)	水素を燃料として使うしくみの例の水の質量の変化について、適切なものを選択する	水を電気分解して発生させた水素を燃料として使う仕組みを探究する学習場面において、粒子の保存性の観点から化学変化に関わる水の質量が変化しないことを、分析して解釈できるかどうかをみる		(4) (4)		○	○	55.7	59.4	60.2	0.8	0.3	0.3
3(3)	水素を燃料として使うしくみの例の全体を動かせるおおもとを指摘する	化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの全体を動かせるおおもととして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる	(3) (7)	(4) (4)		○	○	20.1	22.0	24.8	7.6	6.0	4.3
4(1)	ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連付け、その理由を説明する	節足動物の外部形態の観察結果と調べた内容を、生活場所や移動の仕方と関連付けて、体のつくりと働きを分析して解釈できるかどうかをみる		(1) (4)		○	○	65.6	70.0	74.5	12.7	7.9	5.5
4(2)	背骨動物には骨格のつくりが共通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトとカエルのあしの関節を選択する	複数の背骨動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方を動かせるおおもとと比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる		(1) (4)		○	○	56.2	62.0	65.6	0.7	0.3	0.2
5(1)	おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する	力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる	(1) (4)			○	○	10.9	13.8	15.3	0.6	0.3	0.2
5(2)	「ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する	課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる	(1) (4)			○	○	39.2	43.5	45.0	1.3	0.5	0.4
5(3)	考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する	考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の観点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる	(1) (4)			○	○	29.2	37.5	43.3	50.5	36.3	29.4
6(1)	玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する	玄武岩の露頭で化石を観察できるかを問うことで、岩石に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(2) (7)			○	○	48.4	46.0	48.0	1.1	0.4	0.3
6(2)	陸上の地点で中生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する	過去の大地の変動について、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を、水平方向の変動も踏まえて、検討して改善できるかどうかをみる		(2) (4)		○	○	50.9	57.6	60.3	1.0	0.6	0.6
6(3)	東西方向と南北方向の地層の断面である露頭のスケッチから、地層が傾いている向きを選択する	地層の広がり方について、時間的・空間的な見方を動かせるおおもとを、ルートマップと露頭のスケッチを関連付けて、地層の傾きを分析して解釈できるかどうかをみる		(2) (4)		○	○	28.1	32.5	34.2	1.5	0.7	0.7
7(1)	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する	液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用できるかどうかをみる	(2) (7)			○	○	31.7	34.0	35.9	0.8	0.5	0.4
7(2)	吸湿発熱繊維に水蒸気を含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する	実験の結果が考察の根拠として十分かどうかを検討し、必要な実験を指摘して、実験の計画を改善できるかどうかをみる	(2) (7)			○	○	44.9	50.4	53.4	1.7	1.1	1.0
8(1)	アリの行列による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する	アリの行列のつくり方を探究する場面において、視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を分析して解釈し、課題に正対した考察を行うことができるかどうかをみる	(3) (7)			○	○	39.7	49.0	55.2	24.3	16.3	11.6
8(2)	予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する	予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見直しをもつことができるかどうかをみる	(3) (7)			○	○	39.0	49.6	55.1	28.1	20.0	14.9
8(3)	生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する	未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる	(1) (4)			○	○	32.7	35.6	39.2	2.0	1.7	1.4

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校生徒質問紙

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（32問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（16問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国等との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	泉佐野市の状況	泉佐野市<泉佐野市回答率/全国回答率>（大阪府回答率）
【自分自身について】	○自分には、よいところがあると思う割合は、全国を下回っている。	○自分には、よいところがあると思いますか <72.8/78.5> (75.2)
	○将来の夢や目標を持っている割合は、全国を下回っている。	○将来の夢や目標を持っていますか <61.1/67.3> (64.5)
【家庭生活の様子】	○毎日朝食を食べている割合は、全国を下回っている。	○朝食を毎日食べていますか <84.8/91.9> (89.5)
	○毎日、同じくらいの時刻に寝ている割合は、全国を下回っている。	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <71.9/79.9> (78.9)
	○1日当たりテレビゲームをする割合は、全国を上回っている。	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか 4時間以上<29.5/16.3> (22.9)
	○1日当たりSNSや動画視聴などをする割合は、全国を上回っている。	○普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く） 4時間以上<23.9/15.6> (21.5)
	○1日当たり全く読書をしていない割合は、全国を上回っている。	○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く） 全くしない<55.9/39.0> (47.4)
	○新聞を読まない割合は、全国を上回っている。	○新聞を読んでいますか ほとんど、または、全く読まない<86.6/79.0> (85.2)
	○読書が好きな割合は、全国を下回っている。	○読書は好きですか <59.4/68.2> (63.3)

	<p>○地域の行事に参加している割合は、全国を下回っている。</p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか $\langle 28.2 / 40.0 \rangle$ (30.8)</p> <p>○地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか $\langle 31.0 / 40.7 \rangle$ (36.8)</p>
【家庭学習の様子】	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学校の授業時間以外に、1日当たり全く勉強をしない割合は、全国を上回っている。</p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり全く勉強をしない割合は、全国を上回っている。</p>	<p>○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） $\langle 53.1 / 58.5 \rangle$ (54.5)</p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 全くしない$\langle 11.0 / 4.9 \rangle$ (8.5)</p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） 全くしない$\langle 20.7 / 10.2 \rangle$ (18.8)</p>
【学校での学習の様子】	<p>○授業中に自分で調べる場面で、ICT機器を使用している頻度は、全国を上回っている。</p> <p>○学級の生徒と意見を交換する場面で、ICT機器を使用している頻度は、全国を上回っている。</p> <p>○授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた割合は、全国を下回っている。</p> <p>○授業で、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など） 毎日$\langle 20.7 / 12.3 \rangle$ (13.5)</p> <p>○学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか 毎日$\langle 12.4 / 5.0 \rangle$ (7.2)</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか $\langle 74.2 / 79.2 \rangle$ (76.1)</p> <p>○1, 2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか $\langle 59.8 / 67.4 \rangle$ (65.0)</p>

	<p>○授業が、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいた割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている割合は、全国を下回っている。</p> <p>○学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p> <p>○道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる割合は、全国を下回っている。</p>	<p>○1, 2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか $\langle 69.2 / 75.3 \rangle$ (71.8)</p> <p>○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか $\langle 70.8 / 78.7 \rangle$ (75.2)</p> <p>○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか $\langle 59.2 / 72.1 \rangle$ (62.5)</p> <p>○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか $\langle 65.3 / 76.8 \rangle$ (69.2)</p> <p>○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか $\langle 63.8 / 71.7 \rangle$ (66.9)</p> <p>○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか $\langle 73.0 / 85.5 \rangle$ (80.4)</p>
--	--	---